

第32回 北海道通園センター連絡協議会研修会 開催要項

1. 目 的 地域で療育に関わる方々が、互いの知識・技術の交流と研修を行なうとともに、関係機関同士の情報交換や親睦を深めることを通して、北海道の障害児通所支援及び障害児相談支援の充実と向上を目指すことを目的とする。
2. 開催日程 令和7年6月13日（金）～14日（土）
3. 会 場 北海道大学 学術交流会館 （札幌市北区北8条西5丁目8-1）
4. 主 催 北海道通園センター連絡協議会
5. 後 援 （依頼中） 北海道 北海道市長会 北海道町村会
北海道社会福祉協議会 北海道乳幼児療育研究学会
全国発達支援通園事業連絡協議会
6. 研修テーマ 「 出会った親子にできること～子どもを理解し、親子の支援を考える 」

7. 日 程

1日目

12:30～	13:30～ 14:00	14:00～ 14:15	14:15～ 15:15	15:30～ 17:30	18:30～
受付	総会	開会式	基調講演	講座	懇親会

2日目

9:30～	10:00～ 12:00	12:00～
受付	特別講演	閉会式

8. 内 容

- (1) 総 会 進行 事務局
- (2) 開 会 式
主催者挨拶 北海道通園センター連絡協議会会長
来賓挨拶 北海道保健福祉部子ども政策局子ども家庭支援課（依頼中）
- (3) 基調講演
演題：「地域の実情に合った障がい児支援体制整備を考える」（仮題）
講師：北海道保健福祉部子ども政策局子ども家庭支援課
障がい児支援係 係長 福士 元人 氏（予定）

(4) 講座

演 題：「自閉症スペクトラム障害の特性と支援」

講 師：北海道教育大学札幌校准教授

齊藤 真善 氏

(要 旨)

本研修では、自閉症スペクトラム障害の特性についてお話いたします。

当事者が「何に困っているのか」に焦点を当て、彼らの内的世界を紹介しながら、支援や配慮の際に必要な考え方について解説していきます。

(5) 特別講演

演 題：「根拠に基づく幼児期支援—アセスメントを支援に活かすには」

講 師：川崎医療福祉大学 医療福祉学部医療福祉学科准教授

諏訪 利明 氏

(要 旨)

療育を組み立てるにはアセスメントが大切。目の前の子どもから情報を得て、さらに家族からも話を聞いて、しかし、その時に、どのような視点で、情報を集めるのか、そしてどうそれを療育に落とし込むのか、その視点をもたないとアセスメントと療育がばらばらになってしまいます。組み立てるためのコツを整理して、お伝えできればと思います。

(6) 閉 会 式

主催者挨拶 北海道通園センター連絡協議会 副会長

9. 参加申し込み

定 員：200名

参加費：通園センター連絡協議会 会員施設 1名 2,000円

非会員施設 1名 3,000円

(特別講演のみ参加されたい方は、1,000円にて入場可能です)

*参加費のお支払いは当日受付でお願いいたします。

申し込み方法： 通園センター連絡協議会ホームページの研修会参加申し込みフォームからお申し込みください。(5月12日公開予定)

申し込み締め切り：令和7年5月30日(金)

10. その他

懇親会～研修会場周辺で、考えております。又、会費は4000円前後になります。

弁当の取り扱いは行ないません。